

◎ 会員だより

10月号から続く「基礎から学ぶインフラ講座」(河川事業)は必要な基本事項が丁寧にまとめられており、若手職員の勉強に大変役立ちました。
匿名希望(都道府県勤務、45)

10月号の「特集(土木の魅力が伝わる広報へ)」を読んで、子供たちや周辺住民にインフラの魅力を伝える様々なPR方法があることがわかって参考になりました。SNSを利用したPRが有効ではないかと思いました。大垣 亜璃沙(都道府県勤務)

11月号の「災害査定のポイント」の事例は、根継工嫌いの私にとっては非常に嬉しい記事でした。特に若い技術者にこの記事を読んでもらい、間違った復旧工法の申請が一つでも減ることを願っています。
匿名希望(都道府県勤務、45)

10月号の「特集」を読んで改めて広報は大事だと思いました。当市では橋梁工事の進捗状況をお知らせするための「かわら版」を月1回発行しています。近くに住んでいても現場には立ち入れないので、地区の住民の方々からは大変好評です。
渡部 敏裕(市町村勤務、55)

11月号の「技術資格試験合格体験記」は技術士という資格を有することで、発注者としてもしっかりと受注者と議論を行うことが可能となり、受注者任せにせず、より良い仕事が出来るといったことが書かれていて参考になりました。
匿名希望

10月号の「ひろば」の「大辞林の【土木】が大きく改訂されました」で、「土木」の説明が変わったことを知りました。このような情報はなかなか知る機会がないので、どんどん教えてください！
大坪 貴明(地方整備局勤務、47)

11月号「地区連の頁」の「土木系女子(ドボジョ)としての抱負」を読みました。本市でも徐々に女性職員が増えていきます。このような記事をもっと広く周知することで土木職員として働きたいという女性が増えるのではないかと思います。
田中 秀典(市町村勤務、36)

11月号の「表紙」の長安口ダムを上空から撮影した写真は壮大で、ぜひ現地に行ってみたいと思いました。
匿名希望

ICT、BIM等のアルファベットの用語が増えてきています。いまさらですが意味や施策等をしっかりと理解しておくことが重要だと思います。
井田 光一(都道府県勤務、48)

当市でも、観光資源として、ダム、紅葉がきれいな道路、自転車道などがあります。11月号の「特集(地域活性化)」に掲載されているようなインフラのPR方法を参考にすれば、今よりもっと多くの集客が見込めると感じました。
匿名希望

新規会員の獲得に向けて、若手職員や市町村職員にとって役立つ記事がより多くあるとよいと思います。
鈴木 崇(都道府県勤務、59)

11月号の「特集」を読んで、これからは施工中の現場における情報発信が大切になっていくと思いました。工事の内容や進捗状況を適切に広報することで、地元の人などにとって身近に感じる現場が増えれば良いと思いました。
匿名希望(都道府県勤務、38)

全建の「建設技術講習会」は、技術者として広い知見を得ることができる貴重な機会であるため、一人でも多くの会員が講習会に参加できるような働きかけをしていくことが大切だと思います。
匿名希望

当市にもダムがありますが、全国的な認知度は低いと思います。11月号の「特集」の「ダムにおけるインフラツーリズムについて」を参考に観光資源として盛り上げていけると良いと思います。
匿名希望

「第658回建設技術講習会(新潟市)」の現場研修で大河津分水の現場を見学しました。県レベルではあまり経験できない大規模で、歴史的な大事業を見学できたことは今後の業務の参考となります。
匿名希望

11月号の「特集」の「金沢アーキテクチャー・ツーリズムの推進について」は、インフラツーリズムの一つに建築・街並みがあるということが意外であり新鮮でした。街並みという資産を上手く発信することの大切さと効果を感じた良い記事でした。
匿名希望(都道府県勤務、45)

「第659回建設技術講習会(名古屋市)」の「AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来(東京大学 全邦釘講師)」では、人工知能についてわかりやすく説明され、理解を深めることができ、さらにAI等に興味を持つようになりました。
匿名希望

「第659回建設技術講習会(名古屋市)」の現場研修では、ICTを活用した現場を見学しました。VR機器を体験し、現場担当者の生の声も聞けて大変参考になりました。
匿名希望

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動(建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等)に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。



一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL: 03-3585-4546 / e-mail: kensetsu@zenken.com